


## 令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	ふわ やすし		
氏名	不破 泰		
所属・役職	信州大学 理事・副学長		
活動拠点	長野県、その他		
略歴	<p>1983年 信州大学大学院修士課程工学研究科修了          1983年 信州大学工学部助手          1992年 博士(工学) (名古屋工業大学)          1992年 信州大学工学部助教授          1994年 米国 Boston 大学 文部省在学研究員          2003年 信州大学工学部教授          2010年 信州大学総合情報センター長          2020年4月 信州大学学術研究院(工学系)教授          2021年4月 信州大学理事・副学長</p>		
地域情報化の 専門分野・技術	<p>(分野)          ・地域情報化全般          ・業務効率化(システム導入支援等)          ・防災/BCP</p> <p>(技術)          ・情報システム全般 ・センサーネットワーク ・オープンデータ ・Wi-Fi</p>		
専門分野	<p>オープンデータ人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 自治体セキュリティ ネットワークインフラ(Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク) 5G 防災 RPA導入 個人情報保護 スマートシティ</p>		
自治体向けメッセージ	<p>無線通信技術, センサーネットワーク技術, クラウド技術, オープンデータ技術を中心としたこれまでの研究成果を基に, 自治体のニーズをお聴きして, ICTを活用した安全・安心な街作りをお手伝いしたいと考えています.</p>		
関連サイト	<p><a href="http://soar-rd.shinshu-u.ac.jp/profile/ja.yCLhZVkh.html">http://soar-rd.shinshu-u.ac.jp/profile/ja.yCLhZVkh.html</a></p>		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>1983年 信州大学工学部情報工学 助手          1989-1990年 名古屋工業大学 文部省情報処理関係内地研究員          1992年 信州大学 助教授          1994年 米国 Boston 大学 文部省在外研究員          1996年 ポーランド Bialystok 大学 研究員          2007-2008年 総務省 SCOPE「自治体全体を網羅する安心・安全な街創りのため</p>	

	<p>の高耐障害性アドホックネットワークシステムの開発」研究代表者  2009-2010 年 総務省 SCOPE「Ad-Hoc ネットワークとセンサネットワークを用いた高耐障害性地域災害通信システムの研究開発」研究代表者  2011-2012 年 総務省 SCOPE「地域全体の安全・安心を確保する防災・減災および鳥獣センシングを実現するセンサーネットワークシステムの研究開発」研究代表者  2014-2016 年 総務省 SCOPE「災害状況を遠隔地から把握するセンサーネットワークのための災害に柔軟に対応する通信インフラシステムの研究開発」研究代表者</p>
<p>これまでに  関与した地  域情報化に  関するプロ  ジェクト</p>	<p>大規模な災害が発生しても稼働し続けることが出来る通信インフラの構築を目指し、電力や通信の有線インフラからの自立と通信機器の一部が被災しても残った機器で通信が維持できる自律を備えた無線 Ad-Hoc ネットワークの開発を行ってきました。また、このシステムを平常時から利用する有用なアプリケーションとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発信機を持った児童の見守りシステム</li> <li>・ 高齢者見守りシステムや安価なバスロケーションシステム</li> <li>・ 土砂災害や河川増水を見守るセンサーネットワーク</li> <li>・ センサーネットワークを利用した農業の高度化</li> </ul> <p>等に取り組んできました。</p>